

女川町復興まちづくり住民説明会（仙台） 議事録

日 時：平成24年2月11日（土） 16：00～18：00

場 所：東北電力グリーンプラザ1階 コミュニティールーム

対象者：

出席者：女川町 須田町長

復興対策室 赤間室長、柳沼参事、西尾係長、鑑氏、木村主査、神山事務員
水産課長、建設課長、税務課長、町民課久坂氏

1.挨拶 須田町長

2.資料説明：復興対策室 柳沼参事

- ①基本的な考え方
- ②断面図（案）
- ③高台移転候補地（案）
- ④まちづくりのスケジュール（案）
- ⑤具体的復興事業の概要
 - ・災害公営住宅整備事業
 - ・防災集団移転促進事業
 - ・漁業集落防災機能強化事業
- ⑥防災集団移転促進事業による移転者の再建収支試算（想定）

3.意見交換（Q；住民、A；町役場）

- Q. 女川に帰りたいと思っていたが、年寄りには待てないので帰れないと思った。
災害公営住宅はいつ入れるのか。
- A. まずは200世帯を陸上競技場に建設。そこから1年以内に100世帯分というように順次提供していく。
家賃については、最初の5年間は国の補助をもらって安くできる制度が使える。時期については、急いで提供できるように努力する。
- Q. 現在仙台にいる。災害住宅等が建設された場合、町内の仮設に入っている方が優先になるのか、それとも町外に出ている人が優先になるのか。
- A. どちらが優先ということはないと思う。借り上げ仮設については1年の延長を要請していく。仮設が空くことで、そちらに移ってもらうこともできるようにしていく。
- Q. A' エリアに家を建てたいが、いつになったら建てられるのか。
- A. 今から詳細の設計をやっていくので、概ねの見込みを4月以降示していきたい。場所については、もう少しするとある程度決まる。その都度知らせていく。個別の問い合わせは復興対策室へ。
- Q. 女川町は以前から一人暮らしが多い。グループホームの計画はあるのか。
- A. 具体的な想定はまだしていない。高齢者有料賃貸住宅について考えがある。今後の意向調査で確認し具体的なものを検討していく。
- Q. 公営住宅の数に余裕はあるのか。当初は自力再建を考えていても無理な場合移行はできるか。
- A. 500戸というのは1回目のアンケートを基にしている。もう少し多くなるだろうと思う。その上、ある程度の余裕は見ていく必要があると思う。
- Q. AとA'のエリアは何をもとにして決めたのか。
- A. Aは25メートル以上の高台、A'エリアは8月の意向確認をもとに浸水深3メートル以下でAエリアの近傍に設定した。実際は、浸水深0に近くなるように検討をしたい。
- Q. 盛土の安全性はどうか。
- A. 宮城県沖地震以降、耐震基準が改定されている。施工実績、専門的知見に基づいて業者を選定する。
- Q. 買収地の価格と分譲地の価格にはどれくらいの開きがあるのか。
- A. 買収額は客観的な基準が必要ということで鑑定が必要になる。新しい造成地については近隣の似たよう

な場所が一つの参考になると思う。鑑定については、土地の計画が単価に反映するので、その辺頑張っていきたい。

- Q. これまで、大雨の時は小河川からの氾濫が起きた。排水計画をしっかりとしてほしい。
- A. 盛土していくところ、護岸を整備するところ、恒常的に強制排水するところと3種類になると思う。これまでの課題も解決できるようやっていくところだと思っている。
- Q. みなし仮設の期間延長の可能性を聞きたい。
- A. 仮設は2年間の後、1年ごとの延長ということになっている。みなし仮設については見解が出されていない。最低でも1年の延長ができるように要請していく。
- Q. 親族のところに世話になっている人には何の支援もない。どうなっているのか。女川から見放された気分だ。
- A. 制度上どこかで線を引かれてしまうのが現実。何とか改善したいことはいくつもあるが、町単独ではなかなかできない。
- Q. 仮設の入居待ちが40人いると聞いた。仮設住宅の増設はできないのか。
- A. 追加での仮設住宅は国も県も止めている。粘り強くお願いしていく。同時に、空部屋の情報提供は行っていく。
- Q. 情報の入手のため、ホームページのアップを早めにしてほしい。
- A. 情報の提供と共有は大切だと思っている。体制をしっかりと取っていききたい。
- Q. 集団移転促進事業で補助が受けられる期間はあるのか。
- A. 造成が済んだらなるべく早く入居するのがルール。土地を寝かせておくということとはできない。期間は計画期間内ということになると思う。

情報提供：仙台市社会福祉協議会に登録をすると民間借り上げも、親族のところに入った方への支援物資等があった時の情報提供がされている状況にある。

以 上